

沼田市水道料金あり方検討委員会会議録

会議名	第3回沼田市水道料金あり方検討委員会
日時	令和6年7月25日（木）午後1時30分～4時00分
場所	テラス沼田4階 防災会議室401
出席委員 (敬称略)	米本委員長、青地副委員長、井熊委員、伊藤委員、久保委員、近藤委員
市	武井都市建設部長、関上下水道経営課長、小野上下水道整備課長 本間経営係長、直江副主査、生方主任 オリジナル設計（株）酒井氏、石川氏
資料	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長</li> <li>・都市建設部長</li> </ul> <p>3. 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 料金改定の基本方針</li> <li>(2) シミュレーション（基本パターン確認）</li> </ul> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・沼田市水道料金あり方検討委員会（第3回）資料</li> </ul>

会議録	1 開会
	2 あいさつ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長</li> <li>・都市建設部長</li> </ul>
	3. 議題
	○議事
	(1) 料金改定の基本方針
	事務局より、「沼田市水道料金あり方検討委員会（第3回）資料」に基づき、説明
【質疑・意見】	
<p>委員            今回の料金改定について、令和7年度から11年度までの5年間の料金が持続可能であればいいという基本方針を書いているが、心配しているのは管路更新率0.3%の話である。経常経費という形での5年間になっており、次世代のための施設更新と持続可能な経営を目指した見直しを求められているということは、20年から30年先の話をしているわけで、今回の5年間だと期間に不足があるのではないか。</p>	
<p>事務局            経営戦略に基づいて、おおむね5年ごとに見直しを検討していく。その際に浄水場の更新が最優先事業であり、管路の更新については、その5年間でおおむね8億円程度見込んで、優先的に危険な場所を行うという方針である。次の5年間を含めて、長期的な検討もしている。</p>	
<p>委員            次世代を考えることが大事なので、今後の料金改定方針の中に長期的な検討を入れてほしい。</p>	
<p>委員            短期ではなくて、目標にある通り、次世代の料金を考えることも盛り込んでいきたい。</p>	
<p>委員            全国的に水道料金は話題であり、新聞によると22年後は全国で約1.5倍上がる予想だが、人口減少により、一番上がるのは北海道で月25,000円の料金になるという試算があった。</p> <p>沼田市でも何十年後に人口と世帯数がいくつになるかも含めて、試算ができると思う。全国の水道の関係の工事費が全然無い中、耐用年数の過ぎている水道管の工事で市民からどのくらい資金を取るのかの工事計画は載っていない。今回は、浄水場移転して水道料金上げるけれど、耐用年数が過ぎてる水道管を今後どうするかという議論も含めて、トータルで考えたい。</p>	
<p>委員            沼田市の場合は、浄水場の更新のタイミングと一緒にになってしまうがために話がややこしい。普通のランニングコストだけなら、2割、3割の人口が減ると、その分だけ負担が増える計算になる。3割減ると1.5倍になり、その後の人口が横ばいになれば、破局的ということはない。浄水場更新費用が多額である上に、それから管路更新率0.3%とか、そういった補修の費用を持っていく等のことで話が混乱している。</p>	

(2) シミュレーション (基本パターン確認)

事務局より、「沼田市水道料金あり方検討委員会 (第3回) 資料」に基づき、説明

委員 論点は基本的に3つある。まず、料金改定のシステムで口径別の料金を導入することについてである。基本料金を超えた分については従量料金がかかる。

2つ目が、全体的な改定率を29%として計算している。それを今回29%とすべきか、25%にするとか、全体の改定率をどの程度にするかについてである。

3つ目が、6ページ、8ページ、9ページにある表に出ている口径別の負担パターンである。小さな口径は一般家庭が多いと思われるが、そういうところに手厚く(上がらないように)するか。しかし、その場合は、大きい口径の負担率がとても上がる。または、小さな口径の負担率を上げて、大きい口径の負担率を優遇するか。どのような傾斜で考えるかということである。

6ページが基本パターンであり、8ページは小口径が上がるパターン、9ページは大口径が上がるパターンである。色々な意見を出し、これ以外のパターンが必要なら事務局に作ってもらい、次回で提案するので、どのパターンがいいか検討していただきたい。

委員 数字がたくさんあってよく分からない。自宅と自社の7月分の検針票を持っていたので、こちらをシミュレーションに基づいて、金額を教えてください。

事務局 次回でいいか。

会議録

委員 次回でいい。どのくらい金額が上がるのか知りたい。

委員 沼田市の口径別の数を知りたい。13mmの利用は何件あるのか。利用数が分かれば水道料金収入についてもシミュレーションできると思う。また、比較表もできると思う。現行から上がったときの比較ができると思う。

委員 ある程度表から読み取ることができる。右端の数字は利用者数なのか。

事務局 利用者のパーセンテージである。

委員 戸数を知りたい。

事務局 戸数も計算で出る。

事務局 戸数も記載した資料を次回配布する。

委員 6ページの一番上に利用者の割合と書いてあるが、13mmが多いことが分かる。使用水量は20立米の層が多いって感じが。

委員 15立米と20立米が多い。

会議録	<p>事務局 10立米までが全体の41.4%、それから、16立米までが60.1%、20立米までが76.4%になっており、そこで最終的にある程度的人数を出すことはできる。累積である。</p>
	<p>委員 10立米までが40%くらい、10から15立米が20%くらい、16から20立米が16%くらいいる。全体の平均をとると16立米であるとのこと。</p>
	<p>委員 現行の人数でやっているのか。10年間のシミュレーションを作っているが、人口減少の部分についても知りたい。高齢化が進んでいくと高齢者がいなくなってきて、2人であった家が1人になれば、水道料金はもっと減る。使わなければ基本料金だけの請求となる。10年間ある程度作っていかないとと思う。</p>
	<p>事務局 シミュレーションしている。まず、将来の利用状況として経営戦略本編に相対的な数字を記載している。経営戦略本編25ページにある表5-2-1水需要予測がある。将来十数年にわたりその行政人口減少ペースにも基づいて、給水人口、一人一人がどのくらい水を使うのか、あるいはその事業者がどのくらい水を使うのか、そういった将来予測を立てている。これに基づいたシミュレーションを行っている。人口、件数、使用水量も減少していくなかで、新しい料金表を当てはめたら、どうなるのかというシミュレーションをしている。水需要が減っていくという見通しを踏まえた改定案となっている。</p>
	<p>委員 行動経済学の観点でいうと、例えば大口径のところの料金を上げた場合は、大口径を避ける動きになる。つまり、上げたところの需要が減る。少し誤差の範囲内かもしれないが、リアクションとしては、予定の収入が入らないかもしれないかなと思う。それほど大きな変化はないか。</p>
	<p>事務局 そう。値上げ幅に応じて、例えば節水を誘引したり、他市に移転したりという可能性はもちろんあると思うが、そこまで今の予測はできない。</p>
	<p>委員 1人当たりの水の使用量が減っていく試算をしているという話だったが、口径別にどのくらいの費用が減っていくか等の試算はしていないということか。</p>
	<p>事務局 主に利用者が人口減少に伴い減っていくという場合、その対象は13mmで、13mmの利用者がだんだん減っていくようなシミュレーションになっている。</p>
	<p>委員 今後示されるシミュレーションとして市民生活と地域経済の観点からシミュレーションしていくということもあったが、現行の水道料金体系というのは、75mmだとか大口径のところの料金設定が低くなっているという説明でいいか。沼田市で何か経済効果だとかを見込んで下げているのか。市民生活の方についても同じだが、市の基本方針だとか考え方に基づいて今までやってきたのを今後変えていくのか、市がどのように考え現行の料金設定をしたのか聞きたい。</p>
<p>委員 0.1%の大口径を使用している会社等への配慮は大丈夫か。</p>	

会議録

- 事務局 特に市の方針として企業を優遇するためとか、そのような考えは無くあえて残した訳でない。
- 委員 まず一つ目は、口径別システムにするというのは異論ないか。大口径が得をしていた訳だが、これは委員会として口径別を導入する。それからもう一つ、改定率は、29%でいいか。
- 委員 後に残さないという意味では今回引き上げがあった方がいいと思う。その5年間はいいがその後責任取れるのか心配である。その後の議論が答申の中に入れられるかが気になる。基本的には29%、高めの設定でいいと思う。
- 委員 現在のメーター使用料はいくらか。
- 事務局 13mmが月額50円、20mmが月額90円等である。料金の他に加算して請求する。
- 委員 行動経済学の観点でいうと、850円をベースにすれば29%上がっている訳ではない。わざわざ高く感じる言い回しをしてしまっている気がする。もう一つは、最初に29%上げると、次回は全体として54%になるが、129から154になる訳なので、次回は2割程度の改定率ということになる。5年間、現行から29%上げて、5年後にそこから2割上げると言った方が、市民のショックは少ないかと。すでに出てしまっている数字なので仕方ないが29%上げるにしても、もっと低めの案を次回作ってほしいという意見等あるか。このまま29%でよいか。中身として小口径を安くするか、大口径を安くするか、そんなに上げないのか、どちらの方向性で行くか。8ページは一般家庭に優しく、増減率がほとんど無い。20立米使っても増減率が2割でとどまる。その分大口径が負担することとなる。9ページは大口径を優遇しており、増減率が3割となり、真ん中の口径の人たちが負担することとなる。一般家庭もかなり負担が高くなる。この中から選ぶとして、これ以外のパターンとか何かあれば作っていただきたい。基本水量を8立米から10立米に変更すると、こういう小口径の方に優しいパターン（8ページ）ができる。
- 委員 どのところに一番影響があるか、ということになると、現在、高齢化社会が進んでいる中で施設に入る人がかなり多くなって、介護施設は毎日入浴があったりして使用量も多いはず。介護施設が何口径を使っているのか、どのくらい金額が上がるのか気になる。
- 委員 7ページを見ると、渋川の方がもっと上がっている。大口径を上げると大口径の人たちに納得してもらえるかだと思う。一般住民の方々の理解を得られるのは8ページの方になるが、どっちを立てるか、大口径の方々のイメージをもう少し知りたい。どういう方々なのか。
- 事務局 介護施設、学校、病院、工場を多く含む。

委員 公共施設はなんとかかなりそうだが、工場等は5割上がるというのも負担が大きくなりそうである。ただ、8ページの方が（一般家庭の方が）1割台の負担であるので、かなり抑えられる。どちらに手厚い方がいいのかという話である。一般受けするのは、当然8ページの方である。介護施設とか並んでいる地域があればスポット的に話題になりそうだが。

委員 利根中央病院は地下水である。プラスで介護施設関係はかなり水を使う。公共的なところが上がると影響が大きいと思う。

委員 6ページの案だと4割程度の増なので、もともと3割増だと言っているわけだから、それほどびっくりはされないと思う。だが、6ページだと一般家庭の方はほぼ優遇がないように感じる。6ページと8ページの間ぐらいのシナリオをもう一つ作っていただいてもいいか。一般家庭も平均並みに上げてしまうと所得の低い方を考慮していないことになる。ただし、所得の低い方が使用水量が少ないかという点必ずしもそうではない。大家族もいる。一人暮らしの方のみ優遇はないと思う。例えば使用水量10から20立米ぐらいが6ページよりは下がった感じになって、50mmや75mmが50%の増加率にならないような。作りにくいかもかもしれないが、そういう感じの計算も技術でうまくいかないか。理想としては、10と15立米が20%等で、40と50立米が50%を超えない感じだと、驚く方は少ないかなと思う。

委員 この表の数字だけでは分かりづらいところもあって一般家庭で最も沼田市の中で世帯的に多いような層は現行いくらのものがいくらになるか、示していただけると説明もしやすいかと。高齢者の一人世帯であれば金額がこのくらいとか企業になるとこのくらいの負担になるというのが分かると思う。

委員 次回戸数も入れていただけるということで、15立米、20立米ぐらいがさらにはっきり分かるということになる。例えば、一般家庭や単身家庭は2割程度に抑え、大口径は4割程度の負担ぐらいでうまく計算の辻褄があえばいいと思う。50%の大台を超えると感覚がだいぶ変わるので、あとは、29%総量を前提とするか。その辺の計算できそうか。

事務局 シミュレーションとしては様々なパターンを出せるように準備してある。次回お示しできる。ただ一点、シミュレーション等を行った立場から思うに、沼田市の上水道の利用者は9割ぐらいが13mmの一般家庭である。少数の大口需要者の値段をどれだけ高くしても全体としてそれほど大きなインパクトは出ない。やっぱり50mm以上を2～3倍に上げたからどうだというのは当然思い浮かぶアイデアだと思うが、仮にそれをしたとしても上水道の13mmの方々の負担としては月数円からせいぜい10円ぐらいの変動しか見込めないのではと思う。

委員 8ページがちょっと不思議な感じでこの10円しか上がらないようにされているとか15立米のところは13.9%になっているが、よく計算ができたなと感じる。

会議録

事務局 あくまでも例としてやっており説明補足としては10立米だということになるが、8立米までの方は当然基本料金が上がる。本当にこの部分だけポツンと安いというパターンである。あくまで例である。

委員 15立米のところは13.9%というのは結構抑えてる印象である。口径が20mmの25立米あたりの増加率で辻褃が合っているのか。とにかく上の3行くらいは20%を超えてもいいと思うが、下も50%は超えない方がいいと思う。基本は6ページの方だと感じる。すべての増加率を下げるわけにいかないで、6ページの上の3行の増加率が少し下がり下の行の増加率が50%はいかないくらい上がるといいかなと思う。また次回提案の機会があるので、今回無理に決めるのではなく、今回のパターンからバリエーションを増やした方が良ければ提案いただきたい。私としては、6ページと8ページの間くらいの案をもう一つ提案していただきたい。もともと29%とうたっているところで50%を超えてしまうと印象が悪くない。かといって一般家庭や独居の方を優遇しなかったというのも委員会の意義を損ねる気がするので、両立した案がほしい。

委員 8立米以下の使用者と10立米以下の使用者というのは、どのくらいいるのか。

事務局 8立米以下の方が41.4%、10立米以下の方が47.8%である。8立米から10立米に変更するというのではなく、シミュレーションとして示しただけである。

委員 特段の理由があるから10立米にしたわけではないということか。10立米で進めた方が収支がうまく回るとか、そういうのがあるかなと思っていた。

委員 一次方程式の切片が変わるだけなので、要は使用水量が少ない人に手厚くなっているという結果となっている。10立米に上げると使用水量が少ない人に手厚くなる形になっている。

事務局 8ページにつきましては、使用水量の少ない方、一般家庭の方の負担率があまり上がらないようなシミュレーションとして示している。

委員 要は所得の低い方がその層に多いんだろうという考え方か。

委員 基本的にはそのような傾向だ。

委員 沼田市で水道料金改定に向けて、病院、施設、工場等に対するの考え方も当然に市の内部で話を詰めて委員会に提案をいただいているということによろしいか。

委員 市として特段配慮すべきであることはあるか。

事務局 特にない。フラットに考えてほしい。

会議録	委員	<p>何立米のところにもものすごく大事な施設があったとか特にそういうことは考えなくてよいか。委員会として提案するには、そのような懸念はある。一般的な考え方からすると口径が低い方が様々な目線から見て厳しい市民の方が多いことが予想でき、低い方をあげない方がいいという感覚はある。8立米で41%の方が基本料金で済んでおり、10立米になると47%の方が基本料金になってしまう。その中に空き家や事実上使われていないところも含んでいると思うが。今回のこちらからは、今の3つの案のうち6ページと8ページの間を取る案を提案していただきというのでいいか。</p>
	全員	同意
	委員	<p>老朽化した管路更新率0.3%について伺いたい。前の資料で修繕費2,000万円の記載があるが、能登半島の地震のこともあるので進捗を心配している。能登半島の地震では電気等の復旧はかなり早めにできたが、水道の復旧が遅れているという報道を見た。能登半島の地震の再来を避けたいと首相も話していた。もっと国の補助金等を利用して、老朽化した水道管の更新を進めていくことはできないのか。</p>
	事務局	<p>老朽化の更新率について、2,000万円だけではなく10年間で水道管の更新工事計画として、8.8億円を見込んで計上している。現時点での実績については、概要版の4ページに掲載してある。</p>
	事務局	<p>概略版の4ページの投資に関する仕組みで、新浄水場が45億円かかるほかアセットマネジメント事業として管路の布設替え等に約8億円かかる見込みであることが記載してある。</p>
	委員	<p>詳しい話は次回伺いたい。能登半島の地震による国の施策を調べてほしい。</p>
	委員	<p>今後の修繕だとか、防災面を含めた長期的な持続可能性を最終的に答申に盛り込めると思うので、次回でもう少し具体的なところを進めたい。</p>
	4. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から次回委員会の開催日等の連絡を行った。</li> </ul>
	5. 閉会	